

筑波大学新聞

第270号

編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 荻野祥三

TEL: 029(853)2040-6699 E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp 月刊

発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

紙面から

秋野豊氏追悼 10年後の今年も人を結ぶ
早大と連携 教育・研究で協力体制
有森裕子さんがゲストで来校
ハンドボール 男子5シーズンぶり優勝
陸上関東インカレ 女子総合で16連覇
君が来なくちゃ始まらない
11 9 8 5 2 2

特集 6,7

行きたい! 知りたい!
留学ってどうすればいいの?

ニニ特集 3

考察・北京五輪
筑波大からの視点

学長懇談会

組織間の連携が課題 学生と大学で問題の共有

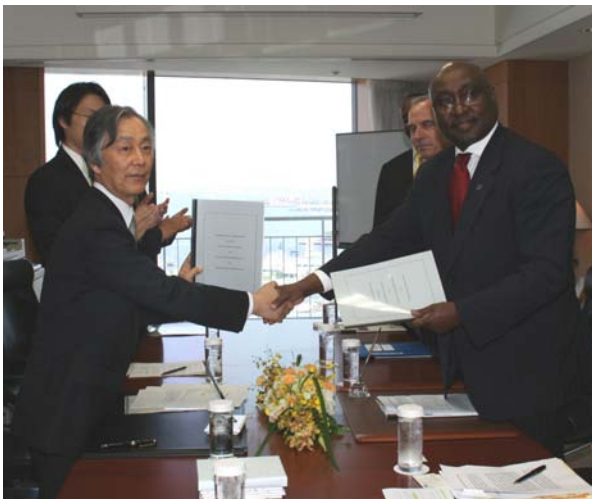
第1部は全代会議長団や各委員会の活動内容の説明と今年度の活動方針について発表した。今回の発表で主な活動方針の一つが、宿舎実行委員会など、昨年度まで連携が希薄だった組織や団体との交流だった。総評の中で岩崎学長は「学生のみなさんにとっての問題は大学にとっても課題」と話した。

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る学長懇談会が6月6日、第一エリア食堂で開かれた。岩崎学長(学長兼学務長)、岩崎副学長(教育担当)、腰塚武志副学長(学生生活担当)ら26人の教職員と58人の学生が参加した。

梅雨が今年もやって来た。さながら霧の都の様相を呈するこの頃のつくばだが、雨が降っているだけで元気がなくなっているのは人間だけなのか、松葉池の鯉たちは、雨音のリズムに身を躍らせ、心地良さそうに「雨が降るのは当たり前、蛇口から水が出るのは当たり前、そんな考えの甘さを思い知らされるニュースがあった。2002年代には水不足に苦しむ人が数億人に及ぶというものだ。データによってはこの数字が10倍程度も跳ね上がるらしい。20年後といえは、まさに我々が社会を背負う時代。他人事だとは言っていられない。▼バケツ2杯(20リットル)と28杯(280リットル)。これは、ケニアと日本の家族が一日で使う水の量だ。この数字から、日本人の過剰とも言える水の使い方が見えてきた。トイレ、風呂など水と付き合わずには生活できないからこそ、一滴の重みがわかる人間でありたい。▼7月に開かれる洞爺湖サミット。その開会を前に、空前のエコチームが日本を席巻している。テレビを始め新聞、雑誌と「エコ」の文字が各所でちらつくと「ファッション化する地球温暖化」という言葉の裏側には、日にバケツ2杯の水で暮らす人々がいる。環境について考えるのは結構だが、梅雨のように時期が過ぎて忘れてしまつては、地球の明るい未来は見えない。

人材育成と共同研究

筑波とアフリカとの距離縮まる



調印後に握手する総裁と学長

本学は、高等教育レベルでの人材育成などを通じ、アフリカ諸国の持続的発展に寄与するため、5月28日、アフリカ開発銀行(本部:チュニジア・チュニス市)と「筑波大学とアフリカ開発銀行との覚書(MOU) Memorandum of Understanding (ing)」を締結した。

締結式は、パンパシフィック横浜ベイホテル東急でおこなわれた。岩崎洋一学長と、第4回アフリカ開発会議出席で来日していたドナルド・カベルカアフリカ開発銀行総裁が覚書に調印した。

本学からは、他に吉武博通副学長(総務・国際担当)や橋田正造国際部長、中嶋光敏北アフリカ研究センター長らが出席した。覚書は高等教育レベルでの人材育成、共同研究・研究フォーラムなどの開催、研究・教育における知識・情報の交換、科学技術分野における南・南協力力の推進など4項目を目的としている。アフリカ開発銀行が日本の大学と覚書を締結するのは初。中国など世界各国がアフリカに注目するなかで、本学とアフリカとの距離が縮まった。

本学は2004年度、学内に北アフリカ研究センター、06年度にチュニジア共和国チュニス市に北アフリカ・地中海連携センター(海外拠点)を設置。北アフリカ地域との学術研究交流を進めてきた。03年チュニス市に本部拠点を移した開発銀行が本学の北アフリカでの活動実績を評価し、第4回アフリカ開発会議に合わせて今回の覚書締結に至った。

学内では今年2月から同覚書締結に関する話し合いを進め、4月下旬、5月に締結式を行うことに決定した。今回の締結は本学にとっても、開発銀行がもつアフリカ加盟国53カ国の情報にアクセスできるようになるというメリットがある。開発銀行との連携により北アフリカのみならず、アフリカ全域との連携・協力が強化されることが期待できる。また、情報や研究員・留学生など人的交流を本学の研究や教育にも活かすことも狙いの一つだ。今後期待される具体的な動きとしては、本学の磯田博士教授(国地)のオリーブ研究がある。アフリカで穫れるオリーブから葉や花に有効な成分が発見され、現在チュニジアと本学共同で国際特許の申請をしている。特許が認められればチュニジアにとっても共同の国際特許取得は初。その後も企業との立ち上げなど研究だけでなく開発への貢献も計画している。

また、7月には北アフリカセンターからチュニジアに人員を派遣し、開発銀行と今後について話し合う予定だ。本学としては、開発銀行の奨学金プログラムの下で北アフリカセンターが仲介し、アフリカの留学生や研究員を日本の大学に受け入れることや、本学から開発銀行へインターンを派遣することなどを検討している。

MOU 締結

アフリカ開発銀行と連携

若手イニシアティブプログラム 研究者の育成環境を整備

英語セミナーの主催も

現在本学では、「次代を担う若手大学人育成イニシアティブ(若手イニシアティブ)」というプログラムを実施している。若手研究者を任期制で雇用し、研究業績を審査して専任教員として採用する「テニユア・トラック制」に基づいて、若手研究者を育成する環境を整備を進めることを目的

として、若手イニシアティブは、昨年5月に文部科学省の「若手研究者の自立的研究環境整備促進」プログラムに採用された。同プログラムは、テニユア・トラック制に基づいて、若手研究者に活躍の場を与えることを企画したプログラムに対して、研究費を出している。

若手イニシアティブの期限は平成23年度までとなっている。若手イニシアティブは、大学全体の教育研究水準向上のために設置された「戦略イニシアティブ推進機構(機構長:岩崎洋一学長)などの支援を受け、既存の部署の教育研究や「戦略イニシアティブ推進機構」の人で、現在人間総合科学研

究科に所属する奥脇暢准教授は、「自分の研究室を持つ以上、教育や研究に対する責任もある。しっかりと果たしていきたい」と話した。

また、5月22日〜7月17日にかけて、若手イニシアティブの主催で、英語講演のセミナーが、総合研究棟D116室で行われている。今後は6月19日、7月1日、7月17日の各日の午後6時45分から実施される予定だ。

雨の匂いを感じる季節が今年もやって来た。学内では突然の雨に自転車で急ぐ人の姿も見える。(パデストリアンデッキ上で) (撮影:篠崎真希=国際総合学類)



今年から数学も開講

数Ⅲ・Cを中心に扱う

所属学類が必要とされていくにもかかわらず、高校で生物や数学を履修していない学生を対象に、5月10日〜16日にかけて、「生物学(リメディアル)」が

医学臨床講義室Cで、「数学(リメディアル)」が3B203教室で行われた。本学の附属学校教諭が講師を務め、生物は医学類の1年生を中心に80人、数学は国際総合学類と社会学類の1年生を中心に107人の学生が参加した。「生物学」は、昨年生物の補習講義に対するニーズがあったことから、試験的に全学対象の講座を実施した。その後のアンケート結果がおおむね良かったことから、今年も引き続き実施した。また、昨年の学類向け調査の結果、数学に関しても要望があったことから、今年「数学」も実施することになった。生物は昨年に引き続き生物学類、生物資源学類

講義では、ベクトルや微積分、統計、行列を扱った。受講した青山えりかさん(地球1年)は、「少しペースが早かったが、すぐくいい復習になった。高校で習っていたことは数カ月で忘れていたけれど、思い出せた」と話した。

担当した教諭は「数学Ⅲを取らない人は、授業でいきなり自然対数『e』なんかが出てきて面食らってしまう。そうした人でも理解できるようにお手伝いをしたい」と話した。

第2回つくば3Eフォーラム

省エネに向けてプラン策定

2日間で1000人参加 3Eカフェで交流も

第2回つくば3Eフォーラムが、5月31日、6月1日に本学大会館で開催された。この会議は、2030年までにCO2の排出量半減とそれに関連した省エネ都市作りに向け、市内の諸研究機関が協力して取り組むことを目的としている。期間中はハイオディーゼル車の試乗会や電気自動車の展示なども行われ、2日間で市民など約1000人が参加した。

昨年12月に行われた第1回会議では「つくば3E宣言2007」を提唱し、「2030年までにつくば市のCO2排出量を50パーセント削減する」という目標を掲げた。目標達成に向け、これまで新エネルギー技術やバイオマス技術、都市システムなど分野ごとに分かれたチームで、効果的な取り組みを検討してきた。今回の第2回会議では、これらの検討に基づいた具体的な活動プランの策定が行われた。

1日目のオープニングセッションでは、井上勲フォーラム議長(学長特別補佐、生環・教授)の開会挨拶に続いて、岸田文雄科学技術政策担当大臣からのビデオメッセージが紹介された。その後、筑波研究センターの山崎洋一学長挨拶と総会が行われ、目録達成に向けて、これまで新エネルギー技術やバイオマス技術、都市システムなど分野ごとに分かれたチームで、効果的な取り組みを検討してきた。今回の第2回会議では、これらの検討に基づいた具体的な活動プランの策定が行われた。

1日目のオープニングセッションでは、井上勲フォーラム議長(学長特別補佐、生環・教授)の開会挨拶に続いて、岸田文雄科学技術政策担当大臣からのビデオメッセージが紹介された。その後、筑波研究センターの山崎洋一学長挨拶と総会が行われ、目録達成に向けて、これまで新エネルギー技術やバイオマス技術、都市システムなど分野ごとに分かれたチームで、効果的な取り組みを検討してきた。今回の第2回会議では、これらの検討に基づいた具体的な活動プランの策定が行われた。



10年前の7月20日、タジキスタンの地で1人の日本人国連事務官が凶弾の前に倒れた。前筑波大学助教授の秋野豊氏である。国連平和維持活動(PKO)の任務で、反政府派指導者との交渉を終えて帰る途中の無念の死だった。来月7月19日、秋野氏の10周年追悼コンサートが開かれる。

本人の言葉の通り、人生というグラウンドを駆け抜けていった。いつも人の中心にいた。人の間に入り込み、結びつける不思議な力をもっていた。学生がけんかしたときも

本人の言葉の通り、人生というグラウンドを駆け抜けていった。いつも人の中心にいた。人の間に入り込み、結びつける不思議な力をもっていた。学生がけんかしたときも

秋野氏のタジキスタンでの任務は、外務省から現地に派遣する若者を捜し出すことと依頼されたとき、秋野氏は自分が行へることを決意した。危険なことは自分が一番

秋野氏は10周年追悼コンサートを受け継ぐ国際平和のボール

秋野氏は10周年追悼コンサートを受け継ぐ国際平和のボール

つくば生物コンテスト 中高校生が28発表

楽しみながら生物学

中高校生が生物学の研究成果を発表する「つくば生物コンテスト」IBO 2009つくばに向けて

東葛飾高等学校の発表

閉会後は、学生と市民の協働で3Eカフェが開催される。軽食をとりながら市民と大学関係者、市内の研究員などが交流を深めた。

閉会後は、学生と市民の協働で3Eカフェが開催される。軽食をとりながら市民と大学関係者、市内の研究員などが交流を深めた。

早大連携プログラム 教育・研究で協力体制

大学間で単位互換も

早稲田大学と筑波大学の連携プログラム

教育・研究で協力体制

早稲田大学と筑波大学の連携プログラム

教育・研究で協力体制

早稲田大学と筑波大学の連携プログラム

教育・研究で協力体制

就職率 昨年度学群から 95%

学内でも就職説明会

昨年度の本学生の就職率が5月22日、まとまった学群の就職率は95%で、昨年度の88%から7%増となった。

学群卒業者の就職は希望者1057人のうち1004人が就職の内訳は企業が81.5%、公務員が8.6%、教員が7.3%、独立行政法人などが2.6%だった。

大学院修士課程では、修了者1426人のうち就職

昨年度の本学生の就職率が5月22日、まとまった学群の就職率は95%で、昨年度の88%から7%増となった。

学群卒業者の就職は希望者1057人のうち1004人が就職の内訳は企業が81.5%、公務員が8.6%、教員が7.3%、独立行政法人などが2.6%だった。

大学院修士課程では、修了者1426人のうち就職



微生物に見入る来場者(総合研究A棟にて)

幼虫が展示され、手で触れることもできた。

中高校の研究発表後、東大教授の神崎亮平氏と、科学ジャーナリストの赤池学氏による講演会が開かれた。神崎氏は、昆虫の脳は決まった刺激に素早く反応し、感覚がよいことを話し、昆虫の能力を生かしたロボットを紹介した。

赤池氏は、金色に輝く繭や玉虫などの写真を見せ、昆虫の力が工業や商業に生かせることを示した。その例として、ヤマユガの虫を眠らせるホルモンを活用した抗ガン剤にも触れ、「生物は生態系の中で生きていくから、生物学では、社会や未来のために研究が出来る」と語った。

講演会後は、コンテストの結果発表が行われ、佐野日本大学附属高校と水戸第一高校が、ポスター賞金賞に選ばれた。また、特別賞は水戸市立国田中学校が受賞し、銀賞、銅賞についても2校ずつ選出された。

講演を行った佐藤忍教授(生命共存)は「キラキラした目で発表してくれたことが嬉しかった。自分のアイデアで研究をすれば、もっと楽しめるようになる」とメッセージを送った。

コンテストに参加した水戸第二高校の女子学生は、「講演を聴いて、生物学だけでなく、情報学や工学とも組み合わせて研究することは、良いことだとわかった」と話した。

はもろんのこと、お互いの学生が相手の大学の良さを学んでいるようにしたい」と話した。

教育担当の工藤典雄副学長は、「研究における連携

はもろんのこと、お互いの学生が相手の大学の良さを学んでいるようにしたい」と話した。

教育担当の工藤典雄副学長は、「研究における連携

考察・北京五輪

筑波大からの視点

今年8月に開催される北京五輪では、本学出身者が多く出場する。一方、水着問題やチケット問題などにも注目が集まっている。本学の教員、中国人留学生は北京五輪をどのように捉えているか。さまざまな側面から北京五輪を考察した。(本紙・牛尾仁美、馬野裕子、社会学類、篠崎真希、国際総合学類)

五輪のあり方とは 真田久准教授に聞く

水着問題や中東の笛など、北京五輪ではスポーツにおけるさまざまな問題に注目が集まっている。オリンピック史やスポーツ歴史人類学などを教える真田久准教授(体育)に話を聞いた。

北京五輪での水着を巡る一連の騒動について。競技では、選手が主役。どの水着を使うかは選手の自由な選択に任せなければならない。それが妨げられると問題。また、着る水着によってタイムが違ったりも、選手本来の力がわからなくなるので問題である。

今回の水着問題のような事例は過去の五輪にあるか。

近いところでは、98年の長野五輪で、スラップスケートと呼ばれるスピードスケートの靴が問題になった。かかと部分とブレッドの一部の能力、しかも数値から金属製にそしてグラ...

心や知性にも目を

おざりになっている。それを解決するには、このような現状を変えるのが、日本の役割だと思っている。日本の「道」では、勝負に勝つことだけでなく、人間的な完成を目指すことに重点が置かれている。これは結果よりも過程を重視しているからである。よって、敗者に対しても、賞賛の言葉をかける。このような考え方は、順位や数値を重視する、欧米的な近代合理主義にはない。スポーツで交流すること、両者の良いところを

五輪と中国社 小嶋華津子講師に聞く

今や政治・経済大国として台頭しつつある中国でオリンピックが開催されるというには、かなりの意味をもつのだろうか。現代中国を研究する小嶋華津子講師(国文)に話を聞いた。

最近よく報道されているチケット問題など、北京五輪にどのような影響をもたらすか。

過去に何度かの五輪と同様に、中国の政府が今回の五輪を国威発揚の場として位置づけている面があることは否定できない。聖火

改善迫る世界の目

自国の状況を経済成長と環境保全を両立させる世界初の実験だと考えている。先や環境技術を有効利用すること、長期的にも利益がある。一方、中国は投資型

中国からの視点 留学生座談会



日本でも注目が集まって、北京五輪であるが、中さるる中国の発展を期待している。中国の留学生に話を聞いた。

五輪を北京で開催するに賛成か。

これは、スポーツが文化として定着していない時代だ。中国の素顔を見せる良い機会だと思ってる。

五輪を前にして、中国の雰囲気はどうか。

中国で五輪が開催されるのは、物価が日本と同じくらいになってきたのに、収

さらなる発展に期待

と他国が対戦していたら、日本を応援する。モウ「客観的にパフォーマンスとして五輪を見た」。ヒョウ「両方を応援したい」。五輪開催にあたっての中国の政策(強制立寄退き、メディア規制など)をどう思うか。

オウ「五輪のためなら仕方が無い。政府もやりづらと思う。中国メディアは良いことしか伝えないが、報道内容は事実」。

モウ「立ち退きの際に、政府はお金を支給しているはず。プラス面もある」。

ヒョウ「悪いけど、これは簡単に判断できない」。

北京五輪についてのメディア報道をどう思うか。

モウ「日本メディアは、前

筑波大と五輪

多くの現役生や卒業生を五輪代表として派遣している本学だが、それだけにとどまらず、五輪と深い関係がある。

日本が初めてオリンピックに出場したのは、1912年のストックホルム五輪だ。この時、日本選手団の団長を務めたのは、本学前身の東京師範学校の校長、嘉納治五郎。嘉納は、09年に日本で初めてIOC(国際オリンピック委員会)の委員に選出され、日本への五輪招致に尽力するなど、日本のオリンピック運動を牽引し続けた。

オリンピックで、日本人最多の金メダルを獲得したのは、加藤澤男教授(体育)だ。68年のメキシコ五輪、72年のミュン

出場予定選手

- ▽競泳 宮下純一(ホリフクロ)▽柔道 岡拓晃(徳寺学園)、金丸雄介(同)、小野卓志(同)、佐藤愛子(同)、谷本歩実(小松製作所)▽バドミントン 坂本修一(日本ユニシス)、池田信太郎(同)▽フェンシング 原田めぐみ(山形県体育協会)
▽有力候補
▽陸上 成迫健児(ミスズ)、齋藤志(体専3年)▽女子サッカー 安藤裕和(レスズレディー)▽男子バレー 柴田恭平(東レ)、北島武(堺ブレイザーズ)、石島雄介(同)、朝長孝介(同)、山村宏太(サントリー)
▽パラリンピック
▽陸上 鈴木徹(アイエックスアイ)
(6月11日現在)

初出場から貢献



個銅メダル1個を獲得。99年には、「20世紀を代表する25選手」に、日本人でただ1人選ばれた。2016年の五輪を東京で開催するために尽力しているのは、本学の河

反射鏡

今月のテーマ 『私の テスト前夜』

心が折れてしまいます。去年、そんなときに助けになっていたのがフランス語(オール)テストのため。解放された2人で食べるパフェはまた特別な思い出です。

そして、つらいテスト期間を乗り越えた末に待っていたのは恒例の2人の打ち上げです。解放された2人で食べるパフェはまた特別な思い出です。

刺激をくれた 友達との勉強

藤澤藍子(比文3年)
私の場合、学類・専攻の関係上テストはあまりありません。そのかわりにレポート地獄です。これは物事や自身自身について深く見詰め直す機会であることは確かですが、やはり孤独な戦いで生きていく時代になって、世界を見渡すと依然として自然災害による被害が生じている。

筑波時評

21世紀に入り、情報化も進み、以前よりも世界は小さくなってきている。そんな時代になっても、世界を見渡すと依然として自然災害による被害が生じている。

2004年のスマトラ沖津波では22万人以上の、昨年11月にバンダラデシユ南部を襲ったサイクロン・シドロでは3千名を超える人びとの生命を奪った。去る5月初旬にはサイクロン・ナルギスがミャンマーを襲い、およそ一週間後には中国中西部の四川省でM7.9の地震が発生した。この地震による死者は

6万9千人に達し、避難民は1500万人を超えている。昨今の情報技術は災害軽減にどう生かせるのだろうか。

中国四川省 巨大地震 頻発する自然災害 情報技術が命救う



村尾 修

今年発生した四川の地震は、この唐山地震に次ぐ地震災害となりそうである。1975年2月に遼寧省で発生した海城地震である。中国国家地震局は、地殻や動物の異常現象よりの地震を察知し、予報を出し、住民を

は地震発生時のP波をセンサーが感知した後、警報を鳴らし、被害をもたらす波が到達するまでの数十秒に被害軽減のための対策をするという仕組みである。

この警報は、災害発生直前から直後における段階での情報がいかにして

ラッキーで単位を取れるたぐいのものではないのだ。寝ることは許されなかった。そして今必要なのはテストに関する情報であつた。それもできるだけ早く。午前1時前、K棟に到着した。国際総合学類生の1、2年生はテスト前によく3K棟に泊り込む。明日のテスト勉強をしているのかもしれない。僕も明日のテスト勉強をしよう。明日からテストだ。

その瞬間鼓動が大きく波打ち、手汗がにじんだ。今からどうすることが明日のテストに最善の結果をもたらすのか考えなくてはならない。只今0時半。最悪なのは今から勉強して明日寝過ぎることである。しかし全く勉強しなかったらこの授業の単位は落とす。確

実だ。それは今までの経験から分かっていた。その授業は全く勉強しない学生がた。ちゃんちゃん。

こうしてコカコーラとチョコレートと共に僕のテスト前夜は始まるのでした。ちゃんちゃん。

被書軽減に活かせるかを問うものであるが、これらが仮に中国で利用可能だったとしても、災害の現状を見るとあまりにも無力に見えてしまう。今回の地震でも、直後の建物倒壊により数分あるいは数十分で亡くなった方が

せられた。最近では、四川大地震にしろ、ミャンマーのサイクロン被害にしろ、国家による報道規制が敷かれはしても、基本的に現場の映像や被災者の声は瞬く間にインターネット上に掲載されている。これにより、国

が規制をしようとも、各国の客観的な声は被災者に届けられ、手抜き工事など小学校倒壊の原因と責任の所在究明が叫ばれている。これはこの情報

のグローバル化と無関係ではあるまい。

巨大災害はその痛みに引き換えに、その後の政治や都市づくりに大きな変化をもたらす。情報のグローバル化がこれから中国をどのように変える

のか、今後の動向を見守りたい。(リスク准教授)

環境レポート・視点「」について エコ志向は浅い流行か?

山本泰弘(国総3年)
この潮流の背景には、世界が「環境」を現代の共通課題としてとらえ、前向きに取り組みたいとする

無理解である。エコバッグの普及も、時代の要請からレジ袋消費に相応の対価を設定する自治体が増えている。社会として行動を

変えるべき時だからだ。

「一部では環境のイメージを壊した、あるいはあえて科学的事実を疑問を呈する不誠実なビジネスが存在し、それに踊らされる

人びとがいることは残念である。ただし、だからといって従来型の行動を改める必要があることを示唆している。例えばレジ袋の消費による環境負荷は人間の活動全体から見ればごく限られた規模だが、それが象徴的な「使い捨て文化」に入

留学生の目

フヤグドルジ・サインザルガル
こんにちは、僕はモンゴルからの留学生です。筑波大学の2年生で、専攻は経済です。なぜこの専攻を選んだかという

旅行したいからです。

僕は中学校のとき数学が得意でした。しかし好きではありませんでした。好きではないのになぜ必死にやっていたかとい

うと、有名な人になりたかったからです。高校に入るとき、有名な人になるより、好きな人びとに囲まれて、好きな家に住んで好きなことをやるのが本当の幸せだということに気がきました。そして自分との対話が始まりました。僕にとって何が

必要か、何が本気でやりたいのか、どこに住みたいのかなどいろいろな疑問が次から次へと出てきました。

キャンパス内にロッカーを設置

和拓拓也(応理工1年)
現在「筑波大学を創る」という講義のもと、「大学をリニューアルする」というテーマで、私達3人で活動しており、より快適に大学生活を送るため、提案があります。

私達3人は自宅から、大学に通っているのですが、

毎日通学での荷物の持ち運びに困っています。ほとんどの学生が大学の近辺に住んでおり、荷物の持ち運びはそこまで辛くないかもしれませんが、自宅から通っている人も多くいると思います。そこで、大学内にロッカーを設置して欲しいと思っています。

無料のロッカーではなく、有料のロッカーを設置することに、設置費用をまかなう。ロッカーによる収益が出た場合は、募

金のなどの福祉活動にも貢献できるようにし、学生生活を快適に過ごすためだけに、社会に貢献できるような活動をしたいです。これについて、みなさんに意見を寄せていただきたいと思います。以下のアドレスに賛成または反対とその理由を載せて、メールを送ってくださいます。よろしくお願ひします。s0811120@ipc-tsukuba.ac.jp

旅で幸せ見つけたい

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

次号のテーマは夏の思い出です

先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。

先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。

先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。

先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。

先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。先月のテーマは「私のテスト前夜」でした。

旅で幸せ見つけたい

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。旅は人生の醍醐味です。

キャリア支援トークショー

有森裕子さんがゲストで来校



自身の経験から学生を激励

メンタルの原点語る

本学生へのキャリア支援 森裕子さんをゲストにト...



自身の半生を語る有森さん(大学会館ホールにて)

局の協力のもと、本学就職...

当日は、腰塚武志副学長...

原点 GEN-TEN

研究室で細々とした書...

自らを通りすぎた原点

その中に今の私がある

「カトリックの幼稚園...

た学問への愛について...

環境センセーション

26団体エコ語る 折れたバットが箸に

環境問題について考え...

環境問題について考え...

体、私の現在の重大な問...

語ってしまっただけの姿...



野上 元

このあらわれなので...

それはそれなりに深刻...

ぶらだった。「有森さんの...

メンタルに触れる質問が多...

から社会に出て行く学生達...



山下 清海

著者の本多勝一は、当...

時、朝日新聞のスター記...

食から始まる文化 極限の民族

本多勝一著 「カナダ・エ...

外国の民族について調査...



山下 清海

著者の本多勝一は、当...

当時ほとんど知られてい...

参加者が集まり、サークル...

紹介や交流会が開催され...

第2部では、大学会館に...

「辛いあれ、海の星」の一...



数学ポスター

数理学専攻が「数理学専攻...

OBが作品寄贈



OBが作品寄贈

行きたい! 知りたい!

留学先からの手紙

渡辺優 (国総3年)

私は去年の8月からフィリピン、12月からイギリスに留学にきています。留学を決意したのは、「研究したい内容が決まらない」「このまま就職なんて考えられない」といった、消極的な理由でした。

まずフィリピンを選んだのは、以前訪れたことがあり、ホスピタリティー溢れるフィリピン人が大好きだったこと、超少人数制で英語が集中的に学べること、そして安さです。今回行く国では語学の勉強だけではなく、経験を重視したかっ



最初の留学先のフィリピンで。(一番左が渡辺さん)

たわけです。ただ、英語の勉強ばかりではつまらないので、近くのリゾートに行ったり、大学の日本語講座のアシスタントをさせてもらったりしました。海外生活が続くにつれ、

時間運ばいいので、残りは全て自由時間です。私は語学学校だけでなく、市民講座でいくつかの講座を勉強しています。大学の教員も多分、パートタイムコースなども豊富で、誰にでも学べる機会が用意されています。また、日本のある新聞社でアルバイトをさせてもらっています。そして生活の大部分を費やしているのが、お年寄りのデイケアセンター、子供達に環境教育を行っている農場、若者向け情報サイトを運営する登録チャリティーでのボランティアです。そこで出会った人びとは興味がいっぱい、友達になるきっかけになります。このように、

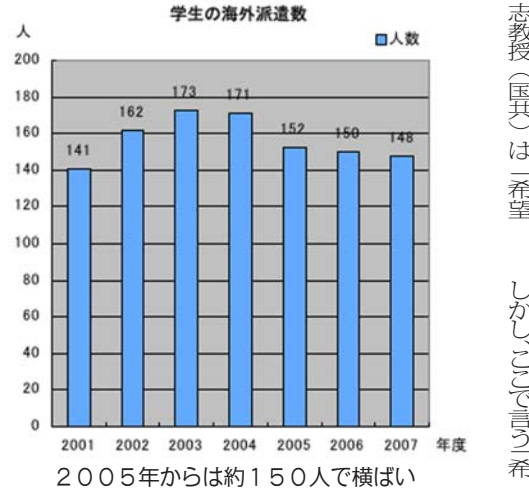
自分の興味を追求

私費での語学留学は、英語の試験のスコアを気にせず、自分で興味を持った分野を追求できることと、短所としては、同時に何となく勉強した内容も定まってきた。それと同時に、日本人としての誇りを感じるようになり、また、グローバル化が急激に進む世界の中で日本を捉えることの必要性を感じ始めています。

最後に、本当に感謝してもしきれないのは家族、そして友達の存在です。全面的に理解、サポートしてくれる両親、またいつも励ましてくる友達に感謝の気持ちを込めて、筆を置かせていただきます。

視点

本学生の留学を仲介し、これまで多くの留学経験者を見てきた木下太志教授(国共)は「希望する人は誰でも留学してほしい」と語る。実際協定校に留学する場合は、留学の希望者数と募集枠にあまり差がなく、ほぼ希望通りの大学に留学できるようだ。



「希望」通りの留学となるかは分からない。留学先から帰国した学生からは「日本でもっと専門性を高めてから行けばよかった」「英語力が足りず、授業について行けなかった」という声もあがっている。留学後はもちろんだが、留学前の準備期間をいかに利用するかも充実した留学にするポイントのようだ。現在、本学からの年間海外派遣者数は院生・学部生合わせて1500人ほど。これに対し、本学が受け入れている留学生数は13000人と、派遣数と受け入れ数の釣り合いがとれていない。大学では、最終的に年間10000人を海外派遣することを目指し、具体案を検討している。



地球が属する天の川銀河のお隣さん、アンドロメダ銀河。美しい円盤で中心部の楕円体から成り、肉眼でも見ることができるとの銀河が「涙」を流していることを「涙」知らずか。「アンドロメダの涙」



アンドロメダ銀河

森准教授が研究者になるうと決めたのは中学生の時。物理が好きで、大宇宙物理学に進んだ。宇宙物理学を専門にしたのも、物理を用いて自然現象を理解したいという思いがあり、全ての根源である宇宙を学ぶ必要性を感じたからだ。幼い頃から天体に興味があった覚えはなかったが、「ふ

銀河衝突が生んだ「涙」

アンドロメダの涙

とたたきつけて覗いた小学校の文集を見た。将来の夢は天文学者だと書いてあった。この道に進んだのも宿命だったのかもしれないと笑った。アンドロメダの涙と、同じくアンドロメダ銀河から伸びる員殻状の円盤を取り巻く星の集合体が生まれたきっかけについて

共同研究の結果は、約10億年に1回程度の割合で銀河衝突が起こり、これが銀河の進化に大きな影響を与えていることを示唆しているという。「アンドロメダの涙にまつわる謎を解明した」というのは、広大な宇宙の中で小さなことかもしれない。しかし今回の研究が宇宙の謎を解明する一つのステップになったこと



卒業生からの手紙

こんにちは。今から30年以上も前の1976年(開学して3年目)に入学した瀬澤と申します。当時も研究学園都市も建設途上で、土浦からのバスも峠道を縫って大学に辿り着く始末でした。宿舎と大学の道路は雨が降ると小川になり、長靴すら役に立たず、逆にサンダルなどでジャブジャブ渡ると言った状況でした。今となっては懐かしい思い出です。

二つ目が、小生が、日本政策投資銀行南九州支店長を離任した後就任した「薩摩大使」です。「薩摩大使は、鹿児島県をこよなく愛していただいている人格識見に優れた方」という「ご縁」です。司馬氏が青木先生に「陸羯南と新聞日本の人々」の研究をしてはどうかと伝えましたが、青木先生もまた研究を果たせぬまま亡くなられてしまいました。そこで、この司馬遼太郎・青木彰南先生の遺志を継いでいるのが、この研究会です。青木先生のご指導・「ご縁」によって、マスコミ界など名実を活躍している筑波大OBなどが、「陸羯南と新聞日本の人々」の研究を進めています。最近では、5月28日付日経新聞にも掲載されています。すしプログラムもあります。

また、鹿児島県は、北は霧島から、屋久島、種子島、甕島、奄美群島迄が県域の有力観光地です。NHK大河ドラマ「篤姫」(鹿児島出身のお姫様)の人気も上々です。その際放映された開門岳や櫻島も含め訪ねた地や人々を思い起こせば限りがありません。赴任時代に受けた地元の皆様様の「ご恩」に少しでも報いるため、鹿児島のアピールを行なうのが「薩摩大使」の役目なのです。皆様か、今後ともご健勝でございませう。ご縁」を大切にしつつ、各界でご活躍されますようご祈念申し上げます。



「ご縁」がつくる現在の自分 薩摩大使 瀬澤洋さん

方々と触れ合うことが出来た。特に、鹿児島県や焼酎会社の皆様とともに、鹿児島大学の「焼酎学講座」の新設に尽力しました。

(昭和54年度第一学群社会学類卒、日本政策投資銀行より都市総合整備課へ副社長として出向中、薩摩大使)

スポーツの舞台裏

第3回 スポーツ心理

1000分の1秒を争う競技や、チームメイトとの連携が必要な競技、高度な心理戦が要求される競技。スポーツでは、日常生活では感じないような心理的負担がかかる。トップアスリートの世界にはストレスが多く、時にはそれが、身体の異常として表れることも多い。

アスリート特有の悩みに対処

心理技法学び活躍する選手も

起る。このようにスポーツ選手の動きの崩れの背景にはしばしば心理的課題・問題が見え隠れすることがある。

そのようなスポーツ選手の悩みを解決するのがスポーツカウンセラーである。本学でも、体育総

合実験棟(SPEC)の3階で、心理相談などを行っている。スランパやケガ、意欲の低下などの悩みを持った学生が、年間を通して、40~50人訪れるという時間にして、年間400~5000時間。数回で問題が解決する仕方もポジティブシンキングなど、心理技法を身につける。数人のグループに分かれて、それぞれに指導者がつき、グループディスカッションを行う。また、クラスで絵を描くなど、自己表現を行うプログラムもあるという。

競技でのパフォーマンスが上がったり、次のシーズンで結果を残したりする参加者も多いという。「講習会によって、冬季トレーニングへの取り組み方などが変わるのではないかと」中込教授は分析する。

心理学的なトレーニングは、自らの能力を十分に発揮させるだけではない。団体競技でのコミュニケーションなど、人間関係にも影響を与える。同じ部の数人グループで、砂が入った枠におもちゃや人形を配置する箱庭療法を2、3カ月続けたところ、試合でのコミュニケーションが円滑になっ



箱庭療法で用いられる(SPEC)

態度が変わるなど、選手自身が成長することも多いと話す。

毎年9月には、メンタルトレーニングの講習会も開かれている。週1回2時間、10週間のプログラムだ。リラクゼーションやポジティブシンキ

ケーションが円滑になったという。

日本には、古くから「心技体」という言葉がある。スポーツで結果を出すためには、技術や身体的能力だけではなく、精神も鍛えなければならぬ。トップアスリートの心を支え、強くなるため、心理のプロフェッショナルは活躍している。

女子 嘉悦大に競り負け3位



4月12日から実施された、関東大学バレーボール春季リーグ女子1部の残り2試合が、5月17、18日に青山学院大学記念館(東京・渋谷区)で行われた。本学女子は17日の青学大戦には3-1で勝利したが、18日の嘉悦大戦は2-3で敗れ、6勝1敗。セット率で嘉悦大、青学大に次ぐ3位となり、優勝を逃した。

昨年の秋季リーグに続き、二季連続の優勝を狙った女子は、5戦全勝として、17日に同じく全勝だった青学大と対戦した。第1セットは中盤にリードを奪

と1点が取れず逆転を許し、28-30でセットを落とした。続く第2セットも勢いに乗る嘉悦大の攻撃を止めることができず、22-25で落とした。

しかし、第3セットから追いつかれ、最後は14-16でセットを落とし、試合に敗れた。中西康司監督(体育・講師)は、「第2セットのあと、相手にきちんとは対応する意識を持つようにと指示を出したが、うまく実践できていたと思う」と話した。

そして翌18日は昨年の全日本インカレで敗れた嘉悦大と対戦した。第1セットは23-20としたものの、あ

延長16回制すも4位

野球

4月12日から平塚球場(神奈川県平塚市)などで行われていた首都大学野球春季リーグが、5月26日に終了した。本学は、6勝6敗、勝率5割の4位に終わった。

12日の帝京大との1回戦で、完封勝利を収めた本学は、続く帝京大との2回戦で、1回表に先制点を許し、2回表にも1点を追加される。しかし、2回裏に日高一晃(体専4年)の2ランホームランで試合を振り出しに戻す。

16回裏、塩沢がタイムリーヒットを放ち、サヨナラ勝ちを収める。延長16回、4時間50分の死闘を制した本学は、Aクラス入りに望みをつなぐ、3つ目の勝ち点を挙げた。

最終週となる5月24日の日体大戦。坪井は7回まで粘りのピッチングで0点に抑え、8回表、本学は連続ヒットで、1点を先制する。

男子5シーズンぶり優勝

関東学生ハンドボール春季リーグ

ハンド

関東学生ハンドボール春季リーグが4月12日~5月25日にかけて、日本体育大学健志台体育館(横浜市)などで開催された。本学男子は5月16日、全勝で迎えた早稲田大との最終戦を33-27で制し、5シーズンぶり18回目の優勝を果たした。女子はキャプテン高橋恵(体専4年)など主力メンバーのけがで苦しい戦いを強いられしたが、2位と健闘した。

日体大のミスが目立ち始める。それを逃さず速攻につなげ、徐々に日体大を引き離し、15-11で前半を折り返した。

後半は、開始3分過ぎに本学が16点目を先取りし、5点差に持ち込んだ。しかしそこから日体大のシュートが決まりだし、30-29の1点差にまで詰め寄られる。そのまま日体大に逆転を許すかに思われたが、29分13秒、キャプテン木村雅俊(同4年)がミドルシュートで31点目を得点。その後後半は日体大に30点目を許したものの、そのままタイムアウトとなり、31-30で本学が勝利した。

5月16日に行われた早稲田大との最終戦は、前半を15-13の2点リードで折り返した。後半は早稲田大のミスが続く、そこから得点に結びつけた。

後半は開始4分48秒から本学が6連続得点を決め、その勢いを保ったまま33-27で勝利した。

大西武三監督(体育・教員)は「選手たちは、この優勝を以て、来年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

最後は勝ちを意識しすぎたのか、攻撃が単調になってしまった」と話した。その一方で、「春季リーグは準備期間。6月の東日本インカレからが本当の勝負になる」とも話した。

拓殖大に敗れ、準優勝

バスケット

女子

第42回関東大学女子バスケットボール選手権大会が5月12~27日にかけて国立代々木競技場第2体育館(東京・渋谷区)などで開催された。本学は決勝で拓殖大と当たり、64-75で敗れ2位となった。

しかし後半、拓殖大に連続得点を許し、そのまま逆転される。徐々に拓殖大が勢いに乗り始めたが、大鷹さおり(体専3年)のスリーポイントシュートで再び逆転。54-53の1点リードと

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。

本学は、石立真悠子(体専4年)を中心に試合の流れを作り、前半を13-12の

は、5月18日、1位の東京女子体育大と2次リーグ最終戦を行った。1次リーグで、本学は東京女子体育大に勝利した。これにより2点差で惜敗し、唯一の敗北を喫している。



拓殖大のディフェンスをかわす伊藤奈月(体専4年)

第57回関東大学バスケットボール選手権大会が、5月17日~6月1日にかけて、国立代々木競技場第2体育館などで開催された。3位決定戦で慶應義塾大に敗れたものの、7年ぶりに春の大会で4位を獲得し、健闘した。

吉田健司監督(体育・講師)は「ディフェンスで相手のシュートを誘い、リバウンドから速攻につなげることができた。今回の

男子

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春



シュートする佐藤泰吉(体専2年)

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

男子は5月11日、昨年の王者日体大と全勝対決を迎えた。日体大とは昨年の春

関東陸上インカレ

女子総合で16連覇果たす

男子健闘するも総合3位

国際大会 齋藤雪辱果たし二冠

陸上

第87回関東陸上インカレが5月17-25日の4日間、国立競技場(東京・新宿区)などで行われ、女子が総合優勝、16連覇を果たした。男子は3位に終わり、男女アベック優勝はならなかった。

女子は初日に1500メートルの品田貴恵子(体専3年)が4分30秒84で優勝。品田は4日目の800メートルでも2分7秒87で優勝を果たした。また、同じく4日目の円盤投げでは緒方えりこ(同)が43メートル89で優勝するなど上位3位を独占し、総合優勝に大きく貢献した。フィールド競技の得点で2位以下を大きく引き離し、総合得点

は2位の中央大と37点差の1355点で、貫禄を見せた。一方男子は初日にやり投げの山田啓太(同)が72メートル83で大会2連覇。2日目には100メートルの齋藤仁志(同3年)が10秒45、4日目には400メートルハードルの岩瀬佑貴(同4年)が50秒02で優勝を果たした。しかし、フィールド競技で得点が伸びず、総合得点は94・5点で、日本大、順天堂大に次ぐ3位に終わった。

5月10日に大阪市長居陸上競技場(東住吉区)で行われた国際グランプリ陸上大阪大会2008(主催II日本陸上競技連盟)の200メートルにおいて、

位に終わり、「雪辱を果たした」と齋藤。気温が低かった上に雨が降りしきる最悪のコンディションだったが、最初から前に出て、逃げ切りを図る自分のスタイルを貫いた。自己ベストには及ばなかったものの、直前の静岡国際で敗れていた高平慎士(富士通)や、昨年のアジア選手権を制した藤光謙司(日大)らをおささるの優勝に「勝ったこと自体に意味がある。本当に嬉しかった」と齋藤は話した。

齋藤は6月26-29日に行われる日本選手権にも出場。「3位以内に入って北京五輪出場を決めたい」と話した。



齋藤 仁志



前期最終節の国士大戦。右は本学の木島。

関東大学サッカーリーグ 精神面に課題残る

サッカー

4月から国立西が丘サッカー場(東京・北区)などを会場に行われている関東大学サッカーリーグは、5月30日の国士館大戦で前半11試合を終了した。前半の結果は4勝6敗1分けの12チーム中8位。

前半全体を通してチームの調子について、内藤清志(ヘッドコーチ(体育2年))は「1試合ごとにムラがある。うまく行かない時はそれが続き、自分たちで立ち直れないなど精神面に弱さがある」と話した。

リーグ前半、チーム内で目立った動きを見せているのはF.Wの西川優大(体専4年)。今期9得点を挙げ、1部リーグの12チーム中得点で1位。また、チームの中心選手の永芳卓磨(同4年)も良い精神状態で安定したプレーを続けている。

関東学生選手権

剣道

菊池、接戦制し優勝

本学から9人が全国へ

7月に行われる全日本女子学生剣道選手権大会の予選を兼ねた第40回関東女子学生剣道選手権大会が5月17日に、東京武道館(東京・足立区)で開催された。478人が集まり、本学からは10人の選手が出場。昨年の同大会でベスト8だった菊池愛乃(体専4年)が優勝した。本学からは6人が全日本学生大会に出場する。

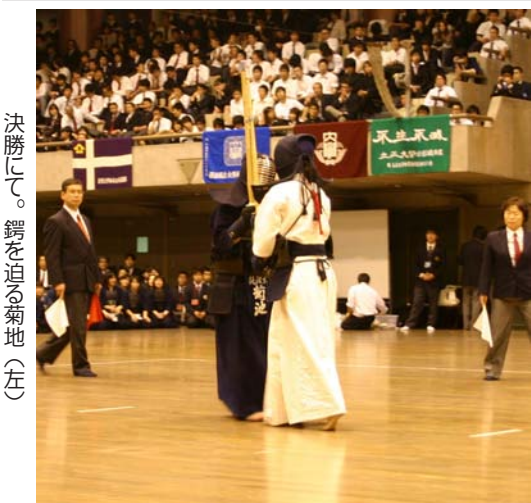
初戦から順当に勝ち上がった菊池は、6回戦で美波末依(同3年)との筑波大学対決を制した。続く準決勝の山井友里(清和)戦では、まさに二振り。開始の合図と同時に小手を続けざまに決めて勝ち上がった。有田祐二監督(体育・講師)が「今日の菊池は良かった」と褒めるほどであった。

準決勝の相手は、6回戦で高山智美(体専4年)を破った、高校時代の後輩でもある迫美樹(法政大)。試合は延長戦までもつれ込む接戦だったが、飛び込んで小手を奪い、決勝進出を決めた。決勝では桑原里奈(東海大)と対戦。菊池は序盤、飛び込んで面の有効打を決めた。その後は、攻め合うも互いに有効打はなく、菊池の勝利が決まった。菊池は「運が良かった」としか言えない。全日本に出場出来るのが何より嬉しい」と笑顔で話し、「個人では最後の試合なので、悔

いが残らないようにしたい。秋の団体につながるような試合が出来れば」と全日本に向けて意気込んだ。有田監督は菊池に関して、「今まで自身に課題を与えて取り組んできた結果が実った。自信になったと思」と述べ、全体に対しては、「現在は、どこの学生が成績を収めてもおかしくない。その中でも勝てたのは良いこと。全国では持っている力を出せるようにしてほしい」と日々の練習により一層取り組むよう激励した。

全日本大会には菊池のほか、ベスト16の大澤朋代(体専4年)、高山、美波、敗者復活戦で出場権を獲得した鈴木愛梨(同3年)、金井若葉(同2年)が出場する。

全日本学生剣道大会の予選を兼ねた第54回関東学生剣道選手権大会が5月11



決勝にて、鏑を迫る菊池(左)

日、日本武道館(東京・千代田区)で行われた。同大会には493人が集まり、選手権は菊池(体専2年)が3位に入賞した。

遅野井は2回戦で同大会2位の升田良(中央大)と対戦。プレッシャーのかかる一戦だったが、小手を続けざまに決め、あっさり勝ち上がった。その

後順当に勝ち上がり、準決勝に進出。相手は一昨年、昨年とベスト4の成績を収める、今年度優勝者の国士館(国士館大)だった。負けて当然だが、一本取ってやる」という意気込みで望んだ遅野井。激しい打ち合いの末、延長戦へ。延長でも長期戦へともつれ込んで、遅野井がふっと力を抜いて手を上げた所で胸を抜かれ、敗退が決まった。遅野井は「個人出場は初めてだが、この結果は嬉しむ。全日本でも上位に上がって結果を残し、秋の団体に繋ぎたい」と今大会の感想と、決意を語った。

鍋山隆弘監督(体育・講師)は遅野井について「優勝する力は持っている。身を投げ出して飛び込んで行くのが優勝との差。これが出来れば」と話した。また全体について「結果的にはまずまず。全国出場者が3人いるというのは良い位置につけていると思う」と評価し、全日本に向けては「竹刀に乗り移って、試合でも出せるようになってほしい」と激励をこぼした。

と選手連に発破をかけた。全日本学生大会には、遅野井のほか、ベスト8の西村英久(体専2年)、ベスト32の前川矩英(同4年)が出場する。

謙虚なチャンピオン

昨年12月の講道館杯優勝。今年2月の欧州国際ベルギー大会でも優勝。更に、スタアプレーヤーが集まる全日本選抜柔道体重別選手権大会に出場し、準決勝に進出。ここ最近の活躍が目覚ましい栗野靖治(体専2年)は柔道73キロ級の次代を担う存在だ。

栗野は非常にオーソドックスな柔道をする。右組みの、キレがある背負い投げを中心としたスタイルだ。どんな相手にも対応できる柔軟性が特徴で、どうしても力負けしてしまう外国人選手にも、その武器で戦うことができる。

栗野が柔道始めたのは5歳の時。当時兄が柔道をしており、その影響だった。そのまま小中と続けた。高校は秋本啓之(徳寺学園)ら多数の本科生を輩出している桐蔭高校に進学した。ここで大きな転機を迎える。

高2の国体県予選。栗野はその一戦での勝利で自信を付け、その後の試合でも勝ち続けるようになった。

高校卒業後は、中学からの憧れでもあった本学に入學。練習前には負けた試合のことを思い出し、その悔しさをバネに稽古に取り組み。真摯な姿勢は結果として現れる。講道館杯の決勝の相

手は、くしくも高3のインターハイで敗北を喫した中矢(東海大)だった。得意の背負い投げで技有りを取って勝利し、栗野は見事にリベンジを果たしたのだ。

同階級で北京五輪代表を目指している。栗野は話す。目標は「柔道を頑張れるところまで頑張りたい」と話した。しかし、岡田監督は欲を持って、淡々とではなく、チャンピオンを狙った取り組みを目指してほしい」と激励する。努力を惜しまない若手アスリートに期待が寄せられる。(本紙・柏葉II社会学類)



73キロ級の新時代を支える 栗野靖治 (体専2年)

記録ファイル

陸上

2008日本学生陸上競技個人選手権大会(6月6-8日)【男子】▽110メートルハードル・吉永一行(体育2年) 11秒2位(記録14秒09)▽棒高跳・川口直哉(体専3年) 11位(記録15メートル30)【女子】▽砲丸投げ・佐藤あずさ(同2年) 11優勝(記録14メートル93)▽円盤投げ・高橋亜弓(同1年) 11優勝(記録1147メートル85)



「追っかけ玉入れ」での一コマ

第32回 スポーツに燃えた2日間

球技中心に全10種目

学生、教職員がスポーツを楽しむ第32回スポーツデーが5月17、18の両日、野球場など17会場で開催された。好天に恵まれ、延べ6316人が参加した。当初予定されていた、ソフトボール男子部門ガチンコ

カップの優勝チームと茨城ゴールデンゴーストとの試合は相手選手のけがなどで中止となった。各会場では、正式種目のソフトボールやハンドボールなど5種目のほか、蹴球部による早稲田大学との公

今月10日、今回で第2回となる「自転車利用者に対する街頭指導活動」が、つくば駅周辺のペDESTリアンデッキなどで実施された。今月1日に改正された「自転車の交通等に関する交通ルール」の周知を目的とし、チラシや反射板が

街頭で新規定の周知図る

セーフティプロジェクト

配布された。つくば中央警察署の依頼を受けて、セーフティプロジェクト(リーダー 吉武博通副学長)が呼びかけ、本学職員や学生が中央署と共に参加した。中央署の小園文夫生活安全課長は「自分の地域は自

分を守る、という意味で効果は大きい」と評価する。また、本学との連携について「大学の職員サイドとの連携は類稀な良さ」とし

セーフティプロジェクトは、本学職員と学生で構成される。学生の防犯・交通安全に関する意識の向上や学内の安全確保が目的だ。これまで、無灯火防止キャンペーン」などを、つくば市や警察、周辺地域と連携して実施した。

本学は同会のネットワークを通じて、学内の留学生及び家族の被害状況を調査しており、現在、この1人の留学生の家族が被災したことがわかっていて、集められた救援金は中国大使館を通じて中国に送られ、学校再建、親を失った子どもの生活支援に充てられる。全日本中国留学生学友会副会長で、本学の学友

中国四川大地震 中国留学生が募金活動 学内外問わず多くの支援

先月12日、中国の四川省で起きた大地震の救援活動

の二環として、本学の中国からの留学生で組織される筑波大学中国留学生学友会が募金活動をしている。同学友会は全国的な組織を持ち、筑波大学内の学友会には約400人の会員がいる。地震が発生した翌日、会員に向けてメールやリストで募金活動への呼びかけが始まった。14日には県内のリンスカ株式会社代表取締役の武藤則夫氏が、学友会を通じて中国大使館に1000万円の救援金を

送った。学内でも宿舍地区などで募金活動が行われ、NHKや各紙がその様子を取材した。20日には吉武博通副学長が全教職員に向けて被災地救援に協力をお願いする文書を出した。その後も同会は、食料や日用品など学内5カ所での募金活動を行い、6月2日までに122万2098円を集めた。学内で集まった救援金は、その金額や使い道が定期的に大学側に報告されている。

学生 文学界

奈美子

土井雅也

奈美子は美しい。黒く、癖のない髪を巻き上げて、そのきよらかな首筋を見せる。広い両頬は白く、見る者にまぶしさを与えた。そうして右の頬にはふたごのように連なった

小さな黒子もある。このふたつが巻き上げられた髪に隠れぬところにあるのは、たいへんな幸이었다。奈美子の髪を掻き上げてやらなくても、すなわち奈美子の恋人にならずとも、男たちはこの美しい黒子を愛でることができるのである。実際、彼女はよくもてた。学類のなかでは、いったい誰が奈美子を射止めるかという話題で持ちきりになることがし



ばしばあったし、ゼミの担当教員ですら、決して口には出さぬが奈美子のことをきいだと思っ、その授業を楽しみにしている。この日もきよやかな午後、目差しがガラス越しに降り注ぐなか、奈美子は男とふたりソファに座ってコーヒを飲んで、毎週ゼミの時間に会う顔見知りの男から、そこで一緒に休もうと声を掛けられたのである。しかし会話はそう弾まないようだった。奈美子は手持無沙汰に思いながら、瑪瑙のヘアクリップを意味もなくはずし、テーブルの上へ置く。場

所は、中央図書館エントランスのスターバックスコーヒーだった。「妹が買ってきてくれた」

いへアクリップであった。しかし男はそれを見ずに、奈美子の右頬へ視線を投じている。ふたごの黒子は下ろされた髪に隠れてしまった。「妹がいたんだ」と彼女は言う。それは赤い瑪瑙の破片がはめ込まれたかわいらしい

「それこそうたな」と、どうやらうたならしい。それもそうだな、と、奈美子は小さくうなずいた。男はそう、正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら、彼女がそれについて話した。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。

「妹が買った」といふ。奈美子は小さくうなずいた。男はそう、正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら、彼女がそれについて話した。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。

「妹が買った」といふ。奈美子は小さくうなずいた。男はそう、正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら、彼女がそれについて話した。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。

「妹が買った」といふ。奈美子は小さくうなずいた。男はそう、正直に答えた。奈美子の薄くくちびるを見つめながら、彼女がそれについて話した。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。奈美子の声は、うせ怒られないもんね」といふ。

原稿募集!!

字数：1000字程度、メ切：7月31日 掲載はペンネームでも可です。氏名・所属を明記の上、下記のアドレスまでお送り下さい。 shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp ※なお、複数の応募があった場合は選考させていただきます。

学生論壇

社会への声

「世界に一つだけの花」の大ヒットに象徴されるように、現在は個性の尊重が叫ばれている時代である。それだけの人々が自分の中に世界で一つだけの花を持ち、他者はその花を大切に尊重することが求められるようになる。しかし、その他者の世界に一つだけの花を傷つけることを恐れるために別の問題が起ころうとする。他者の個性を尊重するために、他人の内面には立ち入るといふようなコミュニケーションを行っていくという問題である。これによって起ころうとするのが他者への想像力の欠如である。そして他者への想像力がかけた中でも社会というものを成り立たせるためのテクノロジーや法があらゆる所で開発されている。

対話の余地なき規制

spooのICカードの装着が取り付けられ、成人識別ICカードで成人と非成人を区別するシステムが取り付けられている。問題が詰まっていると思う。このテクノロジーは少し考えてみればわかることであるが、誰の内面性も問題にならない。成人していない人間は物理的にタバコを買えない。ただそれだけだ。ここで問題なのは未成年者が「買ってはいけない」ではなく、「買うことが出来ない」ということだ。これにはいかなる対話の余地も存在しない。教師や親が買ってはいけないと言わなければならない。こつしたテクノロジーが使われるようになったのは、親や教師が注意することが出来なくなったということも原因である。「タバコを吸って何故悪いのか」という質問に、現在では教師や親が生徒の内面に立ち入らず「ダメなものダメだ」としか説教することが出来なくなったのだ。「ダメだから買えない」へ移行するのは無理からぬことなのかもしれない。(桐政会・永田大輔 3年)

副議長決まる



清川 朝日

いた全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の今年度の副議長が5月14日の投票により、清川朝日(知)に決まった。清川さんは、副議長就任の抱負を「全代会構成員にとって全代会が何であるか、参加する意味を自覚して活動に取り組んでいきたい」と語った。

虫男捕まる

昨年5月頃からつくば市内で「虫が付いている」と女性に話しかけ、体を触る被害が12件ほど発生している。5月17日日本大学大学院生坂田昭容(27)が逮捕された。

大学周辺で多発

つくば市内で、本学が関係する自転車盗難被害が多発している。昨年度の自転車盗難被害が本学キャンパスを管轄するつくば駅

自転車盗難

前交番管内で、467件起きている。つくば中央署管轄の総数が748件なの

のほると予想される。これに対し、学生生活課は力ギが施錠されているにもかかわらず、今年4月だけで25件起きている。新入生が被害にあっている。また、中央署と協力して盗難防止のため、巡回を行っている。



君が来なくちゃ始まらない!

回祭 34 舎 第宿

ゆかコン嬢、雨の中で舞う

会場に多数の超人現る

「君が来なくちゃ始まらない!」をキャッチフレーズに、5月23・24日、第34回宿舎祭(よどかり祭)が開催された。昨年の前夜祭は雨天のため中止されたが、今年は天候に恵まれ、無事行われた。本祭は悪天候に見舞われ、ゆかたコンテストが30分繰り上がった上で行われるなどの影響を受けた。模擬店は、前夜祭と本祭を合わせて84団体が出店した。(本紙・光安素子II人文学類、磯野潤、牛尾仁美、馬野裕子II社会学類、篠崎真希II国際総合学類、柏葉、泉剛司II社会学類)



ゆかたコンテストグランプリのソニヤさん

前夜祭

23日午後4時半、よどかり祭実行委員会による和太鼓の演奏が始まった。前夜祭の和太鼓演奏は昨年雨で中止だったため2年ぶりとなった。この日も雨が心配される中、その湿った空気を震わせた。演奏が終わると、実行委員が威勢よく開会を宣言。よどかり祭の前夜祭が幕を開けた。メインステージではバンド演奏などが行われ、会場は一気に熱気を帯びた。

大学グッズ

学生制作グッズ商品化

昨年特設自由科目「筑波大学を創る」を受講した学生たちが授業で考案したグッズが、早ければ6月末に商品化される。

1つ目のグッズ、ネックストラップは6月下旬または7月上旬、学生会館のUTショップなどで発売される。ストラップ本体部分はスクールカラーの紫で、筑波大学のロゴが白で入っている。長さ調節ができ、ストラップの先にはネームラレットと携帯をつけることができる。価格は700円を予定。

2つ目のグッズがクラッチバッグで、9月頃から販売する。

本祭

24日午前11時20分、本祭が始まった。

◆新企画

「1つ」の超人は今年初めて企画された。午後1時からの第一部は、特技をを持ったグループや個人がメインステージに次々と登場し技を競い合った。

最初に登場したフロックアカペラサークル「Doo Woop」やフォルクローレ愛好会による演奏が行われた。心地よい音色に学生や一般客は聞き入った。

前夜祭のメインイベントであるパレードは午後6時半から行われた。今年は吹奏楽部の演奏が隊列を率いた。「聖者が街にやってくる」の陽気なメロディーが雰囲気盛り上げた。参加者は追越から平砂まで、各出店の宣伝をしながらパレードを練り歩いた。

パレードを見ていた藤井祥子さん(比文4年)は「コマージュルが工夫されていてイベントとして面白い」と前夜祭を楽しんでいた。



今年の超人に選ばれた矢木さん

三味線に歓声が上がった。チャンピオンに輝いたのは、2本のハンドスティックに通した糸でコマを自在に操るディアポロを披露した矢木啓介さん(工シス2年)。「お客さんの温かい拍手がありがたかった」と優勝の喜びを語った。

また、MVPには中南米民俗音楽のけんか踊りを披露したフォルクローレ愛好会が選ばれた。柴田悟志さん(社工3年)は「お客さんのノリがよくて楽しく踊れた」と話した。

オリエンテーリング愛好会

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。



スタートの合図と共に地図を取り、山を駆け上がる。急な斜面を上り下りし、道無きヤブの合間をくぐり抜ける。最後は服も靴も泥だらけだ。先月の25日に開催された関東学生ペーオリエンテーリング大会(ペーオリ大会)の一幕である。

オリエンテーリングは、コンパスと専用の地図を頼りに林の中にある無数のポスト(通過点)を順にめぐり、スタートからゴールまでの所要時間を競う。



自然の中で頭脳駆使

競技会以外のイベントでは、遊戯的なオリエンテーリングを行ったり、チゴ狩りなどを楽しむ。メンバーの常任組織さ

頭脳も要求されることだ。そもそも、競技では通過点であるポストは設定されていて、明確な道順は決められていない。「地図を見て最適

スポート。日本では競技を行う場所が穏やかな山に集中する。また、悪天候でも行われることが多く、会長の石松純さん(生物3年)は「霧のときは前が見えず、とても苦労した」と話す。

オリエンテーリング愛好会(オリエン愛好会)のメンバーは1年から4年まで全13人で、普段の活動はジョギングと地図読み。関東学生オリエンテーリング連盟に所属し、インカレ大会に頻繁に出場する。そのため、他の大学との交流が盛んだ。オリエンテーリングは、マイナーなスポーツである分、大会などは、出場者同士が顔見知り、和気あいあいとした雰囲気なのが特徴である。

同会は、今年3月の日本学生オリエンテーリング選手権女子団体2位

また、オリエンテーリングは野山で行うスポーツ。自然と常に触れ合えることも魅力のひとつだ。中には競技をしながらバードウォッチングをする選手もいる。新人の池田昌司さん(地球1年)はオリエン愛好会に入った理由を「自然もスポーツも好きな自分にとって、オリエンテーリングは最適だった」と語った。ペーオリ大会で競技が終わった後も、メンバーは地図を囲みながら、その日の出来を語り合った。その姿を見て、彼らのオリエンテーリングにかける思いの深さを感じた。(本紙・宇治田輝II国際総合学類)

を披露した。司会を務めた岡田祐樹さん(人文4年)は「超人たちが技を決める度に観客が盛り上がり、観客と満ち足りていった」と話した。

◆御典・パフォーマンス

今年も、午後3時から各学類から特色ある御典とパフォーマンスが繰り広げられた。生質の資源リサイクルをうたったもの、国総の民族衣装など、どれも趣向を凝らした作品であった。

今年度の優勝に輝いたのは、パイレーツオブカリビアンをモチーフにしたパフォーマンスの比較文化学類であった。映画のワンシーンを模したように音楽と御典、ダンスがうまく絡みあった。一番の山場であったが、ステージ下でReal Jamがストリートダンス

また昨年度優勝した芸専は巨大な虎の御典とミュージカル「キャッツ」を思わせるような虎の衣装で全身を飾っていた。しかし、大きさが規定違反となり、失格になった。

埼玉県から来た女性は「昨までは、こんなダンスはしてなかった。随分練習をしたのだろう」と感動しており、観客を大いに楽しませるものとなった。

◆ゆかたコンテスト

今年のゆかたコンテストは、夕方から降りだした雨の影響で予定より30分程繰り上げられ、雨天の開始だった。今年は9つの学群専門学群に加え、特別出演として筑波学院大学からゆかたコンテスト出場した。今年度グランプリに輝いた。

ゆかたコンテスト後、会場では花火が盛大に打ち上げられた。学生たちはやぐらを取り囲み、ヤドカリ音頭を歌い踊った。雨の中でもゆかたの余韻はいつまでも冷めなかった。

会場での喝采を浴び、特別賞を受賞した人間学群のパフォーマンスは不思議の国のアリスをモチーフとして、大きな絵本をセットにメカネを取られた有紗がそれを取り返すというストーリーだ。立花さんは「観客はあまり来ないと思っていたけれど、こんなに来てくれて嬉しい」と話した。

観客の山下敦子さん(知図図書1年)は「とても面白かった。芸専の衣装やセットが凄かった」と話した。

Who's Who?



(写真提供= NPO法人日本サイエンスサービス) ISEF受賞研究を始め、

国際学生科学フェアで1等賞

牧野 美咲 さん (化学1年)

中学までは理科が苦手だったという牧野さん。実験を重視する高校の化学の先生との出会いで、化学の面白さを知った牧野さんは、先生が顧問の

科学が見せる色に魅了

科学分野において、物理分野において、プラズマ科学連合会賞の1等賞に輝いた牧野美咲さん(化学1年)の、科学との出会いは、

独学で放電装置つくる

でも安く、自分でつくれるようにした。放電装置は、簡単に言えば人工的に雷を起す装置。放電を起すには、空気の粒子が電子の移動を妨げるため、減圧状態が必要になる。従来の放電装置では減圧状態をつくるため、高価な真空ポンプが使われていたが、よく実験で使うアスピレーターで代用した。

先生から、水素を放電させて、4色に光るといふことを聞いた。牧野さんは、それを自分の目で見てみたいと思ったが、放電装置は約30万円と高価で高校生が研究で使えるようなものではない。そこで、自分で安く放電装置を作れないものか、と今回のISEF受賞研究を始め、

新人記者募集
マスコミに興味のある人
文章を書くのが好きな人
文系・理系を問わず大募集中!

連絡先
029・853・6699
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

次号は 9月1日(月) 発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

1	友だち地獄	土井隆義/筑摩書房
2	クレイドウ・ザ・スカイ	森博嗣/中公文庫
3	夢をかなえるソウ	水野敬也/飛鳥新社
4	ゆめつけ	富中恵/角川文庫
5	ゴールデン・スランパー	伊坂幸太郎/新潮社
6	擬似科学入門	池内了/岩波書店
7	漱石	三浦雅士/岩波書店
8	コーチング	落合博満/ダイヤモンド社
9	容疑者Xの献身	東野圭吾/文藝春秋
10	B型自分の説明書	Jamis Jamais/文芸社

5月の1位は、本学の土井隆義教授(国共)の「友だち地獄」。

北京五輪壮行会
7月8日午後3時から、するトップアスリートや、大会会館ホールで、北京オリンピック壮行会が開催される。出場予定者らが集まる。(出場予定選手は本紙3面参照)

催事
◆JICA筑波日本の歌コンテスト
7月4日、JICA筑波(つくば市高野台)体育館
◆チャリティコンサート
2008 当り前ってなんだろー
7月5日、つくば市立中央図書館アルスホール(つくば市吾妻)で、午後5時半開場、午後6時開演。

訂正「旅行代理店5月にオープン」の記事のオープンキャンペーンで「6月30日申し込みまでのパッケージ商品が30%割引になる」とありますが、正しくは「30%割引」の誤りでした。お詫言して訂正いたします。

国立博物館パートナーシップ
国立博物館(東京)と国立科学博物館(東京)の間に貸出、更新を受けた図書の出借期間は通常より延長される。返却期間は貸出日に応じて9月1日から9月12日までのいずれかの日になる。

夏休み図書館
夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の開館時間と貸出期間は次の通り。
中央・体芸・図情図書館
午前9時-午後5時
貸出 午前9時-午後4時
医学図書館
午前9時-午後8時
貸出 午前9時-午後7時

土日・祝日は閉館
夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の開館時間と貸出期間は次の通り。
中央・体芸・図情図書館
午前9時-午後5時
貸出 午前9時-午後4時
医学図書館
午前9時-午後8時
貸出 午前9時-午後7時

夏休み宿舎
夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の開館時間と貸出期間は次の通り。
中央・体芸・図情図書館
午前9時-午後5時
貸出 午前9時-午後4時
医学図書館
午前9時-午後8時
貸出 午前9時-午後7時

筑波自然図鑑

撮影地=宝鏡山

◇ミヤマセセリ◇

ぱっとみてガのように見える味なこの昆虫はセセリチョウ科である。撮影時期は4月下旬。背景から目立たないので、止まっているときにはなかなか発見しにくい。食草はコナラなどで、最終齢幼虫で越冬し、年一回、3-4月に発生。寒冷地では5月でも見られる。さなぎになる。歩手前で冬の寒さに耐え、質素な色合いで隠れながら飛び回って春を飾るこの蝶の生きかたはどこか健気だ。(写真・文川車崎祐介 野生動物研究会 生物2年)

夏休み宿舎
夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の開館時間と貸出期間は次の通り。
中央・体芸・図情図書館
午前9時-午後5時
貸出 午前9時-午後4時
医学図書館
午前9時-午後8時
貸出 午前9時-午後7時

大学説明会
7月29日から3日間
大学説明会が7月29日から3日間、学類ごとに行われる。初日の29日は人文、文、社会、地球、数学、物理、化学部に入った。

平砂浴場閉鎖
夏休み期間(7月2日-8月31日)の附属図書館の開館時間と貸出期間は次の通り。
中央・体芸・図情図書館
午前9時-午後5時
貸出 午前9時-午後4時
医学図書館
午前9時-午後8時
貸出 午前9時-午後7時